

---

# 覚悟のススめ ～蘇る最強のガンダムファイター

K 01

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

覚悟のススメ

└ 蘇る最強のガンダムファイター

### 【Nコード】

N 3 7 6 8 0

### 【作者名】

K 0 1

### 【あらすじ】

東方不敗と覚悟が闘う話

## 正義対最強（前書き）

初投稿です！！

## 正義対最強

覚悟と散が血涙島で死闘繰り広げ、「悪鬼」葉隠四郎を葬り、2人が和解した時から数日。別の世界でその名を轟かせた者がこの荒れ果てた地にたどり着いていたとの事・・・

今の季節は夏も終わりがけの頃、真っ白な学ランに刀を携えて、手にしっかりとカバンを握っている少年の姿があった。その少年は突然独り言を言い始めた。

「零よ、散との闘いがすぎてから数日がたつな・・・」

独り言かと思いきや、それに応じたかのようにどこからか音が聞こえる。

「ヴヴヴヴ」

「了解、」

少年は音に対してこう返事をし先をいそいだ。

不思議に思つかもしれないが、この少年こそが葉隠 覚悟。

そして、この音の正体こそが強化外骨格 零なのだ。

出会い（前書き）

頑張った

## 出会い

覚悟と散が血涙島で死闘繰り広げ、「悪鬼」葉隠四郎を葬り、2人が和解した時から数日。別の世界でその名を轟かせた者がこの荒れ果てた地にたどり着いていたとの事・・・

今の季節は夏も終わりがけの頃、真っ白な学ランに刀を携えて、手にしっかりとカバンを握っている少年の姿があった。その少年は学校へ登校中の様だ。その少年は突然独り言を言い始めた。

「零よ、散との闘いがすぎてから数日がたつな・・・」

独り言かと思いきや、それに応じたかのようにどこからか音が聞こえる。

「ヴヴヴヴ」

「了解、」

少年は音に対してこう返事をし先をいそいだ。

不思議に思うかもしれないが、この少年こそが葉隠 覚悟。

そして、この音の正体こそが強化外骨格 零なのだ。

その日の夜。新東京はいつもどおり静まり返っていた。それもそのはず、21世紀の始めに全世界を襲った地球規模の地殻変動は3年に及び、多くの生命と秩序を破壊したため、何を考えているかわからない不審者やホームレスが何千とろついている。そのため夜出歩く人は少ない。そんな夜に突然張り詰めた空気が走った。そこにはおさげの頭に紫のカンフーの様な服を着た男が立っていた。すると、それを嗅ぎ付けた様に不審者やホームレスが男の周りに男を囲む様に集まってきた。すると突然、不審者達は男に襲いかかった！しかし男は全く相手にせず、ただ攻撃を回避しているだけだった。それでもしつこく襲ってくる不審者達に男も戦闘態勢に入った。男「この腰抜け共がー！！」男はこう言い放ち、襲ってきた不審者

達を一人残らず倒した。「フンツバカどもが！まあいい、暇つぶしにはなったわ！もう少し骨のあるやつでも探すか・・・」男はこう言い放ち歩き始めた。

翌日、いつもの様に逆十字高校に向かう覚悟の姿があった。しかし、その日に限ってはバイク「逆鱗号」に乗り、普段はいない覚悟の級友「霸岡」が逆鱗号に乗っていた。

霸岡「葉隠！飛ばせ！遅刻する！バイクなんかどっかに隠せばいいんだよ！」

逆十字高校ではバイク通学は停学二週間にあたる。そのため普段は乗らない。しかし現人鬼「散」を倒した覚悟であっても今日は寝坊してしまったのだ。只でさえ散との闘いで欠席が多くなってしまうこれ以上は増やせないため必死だ！級友と一緒に進級、いや堀江と一緒に進級出来なくなってしまうのだ。覚悟は霸岡の言葉を聞き、停学になったらと不安であったが、安心した。

バイクを隠し、学校に入ろうとしたところ、逆十字の門の辺りで人だかりが出来ている。

霸岡「ふう〜ギリギリだな！ん？葉隠、なんだあれは？なにがあるんだ？人が多くて分からないな」

覚悟「零、何だか分かるか？俺はかなりの闘気を感じる」

覚悟は零に話しかけた。普通なら気味の悪い音にしか聞こえないが覚悟には零が言っている事が理解出来た。零「武装風紀が中央の男を5人で囲んでいる。闘気は中央の男から感じられる！」

零の答えが帰ってきたのと同時に、人だかりから声が聞こえた。武装風紀委員長「星野」の声だ

星野「そのキサマに告ぐ！部外の者は立ち入り禁止だ！」

星野はこう叫びながら刀を抜いた。それが合図だったかの様に男が武装風紀に襲いかかった！一瞬のうちに星野以外全員倒れていた。

出来ていた人ばかりがなくなりその光景が覇岡と覚悟の目に映った。

覇岡「おい！葉隠！あのオッサンやべえぞ！何とかしてくれ！」

覚悟「今のは突然刀を抜いた武装風紀に責任がある。」

覇岡「そんな事言ってねーで武装風紀を助けるよ！」

覚悟「暴力は極力避けるもの」

このやりとりを聞いていた男が反応した。

男「おい！キサマ！ワシに文句があるみたいだな！こい！相手してやる。」

覇岡「葉隠！あんな事言ってるぞ！」

覚悟「お前を好敵手と認めているようだ。」

覇岡「武装風紀を一瞬で倒したんだぞ！」

覚悟「お前の実力を認めているからだ。」

覇岡「武器持ってたらどーすんだよ！」

覚悟「武器を持つのは弱い者の習性だ。」

覇岡「またかよ！葉隠のバカヤロー！！」



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3768o/>

---

覚悟のススメ ～ 蘇る最強のガンダムファイター

2011年1月15日23時43分発行